

林業北陸サミット宣言

～森林資源の利活用を通じた地方創生を目指して～

多様で健全な森林は、地域振興にとどまらず、国土保全や低炭素・循環型社会の構築に不可欠な基盤である。この再生可能な資源を活用し、森林・林業の再生を確実なものとし、我が国の喫緊の課題である地方創生につなげていくためには、我々一人一人が高い意識を持ち、連携して取り組まなければならない。

今年5月に第66回全国植樹祭を、植樹祭としては初めて「森林資源の利活用」をテーマとして開催した石川県において、本日、全国各地から幅広い分野の関係者が一堂に会して「林業北陸サミット会議」を開催した。その中で、高い理念と熱い思いのもと、森林・林業の再生と地方創生につなげる先進的な取り組みが報告された。

このサミット会議の成果として、我々は、競争力向上の抜本的対策に自ら取り組む森林・林業・木材産業界と一体となり、森林資源の利活用を通じた地方創生を実現するため、ここに次のとおり宣言する。

1. 我々は、次世代に豊かな森林を継承するため、我が国の森林資源を積極的に循環利用し、住宅をはじめ建築用途での利用拡大や都市の木質化を行うことにより、木材需要拡大に向けて取り組む。
1. 我々は、高性能林業機械を活用した林業の効率化や流通改革を進める森林・林業・木材産業界と連携しながら、国産材の安定供給体制の確立を目指す。
1. 我々は、林業界、産業界、行政が力を合わせ、上記の取り組みを通じて、地域産業である林業・木材産業の再生と雇用の創出を図ることによって、地方創生に貢献する。

平成27年10月21日

林業復活・地域創生を推進する国民会議会長

三村明夫

石川県知事

谷本正憲

金沢市長

山野之義

小松市長

和田慎司

北陸経済連合会会長

久和進

石川県商工会議所連合会会頭

深山彬